

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14 備忘ログ(PATCH2.0) クラフター編



木工師クエスト

木工師ギルド 入門編

木工師ギルド受付

コーグ： おや、冒険者の方ですね。「木」を愛してやまない「木工師」の集う場所……木工師ギルド「古樫の高堂」へようこそ。
木工師は、弓や槍といった武器、幻術士向けの杖のほかに、初心者向けの木製の盾などを作ることができます。
木工師になりたいのでしたら、わが木工師ギルドに入ることをお勧めしますよ。ギルドへの入門を希望されますか？

いいえ

おや、残念です……。まあ、木への愛がなければ木工師は務まりませんから、無理にとはいいませんよ。
もし木工師ギルドに興味があれば、いつでも声をおかけください。
ギルドについてご案内させていただきます。

木工師ギルド受付 はい

コーグ： そうでしょう、そうでしょう！
では、木工師と、我が木工師ギルドの素晴らしい歴史について、かいつまんでご説明しますね。
木工師の誕生は、グリダニア勃興の時代に遡ります……。
わが都市では建国以来、武器や建造物の主材として木材を使用してきました。
木材加工の技術は、やがて日用品などにも使用されるようになり、こうした木工に携わる者を「木工師」と呼ぶようになりました。
当初、木工業は個人単位で営まれていましたが、「水車」を用いた製材方法が広まるとともに、
より効率的で、大規模なものへと発展していきました。
この「水車」の共同管理を目的として、寄り合いが発足し「木工師ギルド」となったのです。
それから……グリダニアの木工業が栄えた理由のひとつに、「園芸師ギルド」の存在があります。
木工師ギルドは、園芸師ギルドの木こりたちと協力することで、製品に最も適した木材を使うことができました。
まさに「適材適所」を体現した木工製品は、他都市からも高い評価を受けているのですよ。
……ふう。駆け足で説明してしまいましたが、木工師ギルドについて、おわかりいただけたでしょうか。
どうです、素晴らしいギルドでしょう？
もちろん、ギルドに入門しても、長い歴史と共に積み上げられた知恵と技術を学びきるには、
大変な努力と……何より、木への愛が必要でしょう。
あなたが本当に「木工師ギルド」へ入門したいのでしたら、「ある方」に認めてもらわねばなりません。
心の準備ができましたら、声をおかけください。私から、しかるべき手続きをご紹介しますでしょう。



木工師ベアティヌ先生

木工師ギルド受付

コーグ：私に声をかけたということは……木工師ギルドに入門する決心がついたのですね？

いいえ

むむむ……。まだ心に迷いがあるようですね……。
木を愛さなければ木工師は務まりませんから、よく自分の心と相談なさることです。
ギルドに入門したくなったら、いつでも来てください。

はい

……わかりました。それでは、あなたをギルドマスターにご紹介しましょう。
ギルドマスター、「ベアティヌ」先生は、ギルドの誰よりも木を愛する方。
あなたが木工師ギルドの一員となるに相応しいかどうか、確かめていただかねばなりません。
先生は、作業室の二階にいらっしゃいます。あなたの情熱を存分にぶつけてきてください。

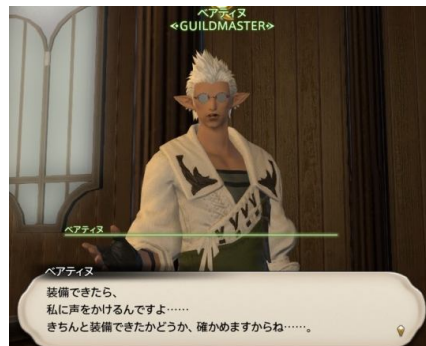
ベアティヌ：私が、ベアティヌですが……。はあ……。冒険者……。入門希望者ですか……。
……。ふう。それじゃあ……。木工師と、ギルドについて、話をしなければ……。
え？ もう受付のコーグから聞いた？ はあ、そうですか……。
じゃあ、聞きますが……。貴方は本当に……。木工師ギルドに入門したいんです……。？

いいえ

ああ、やっぱり。その程度だと思いましたよ……。冒険者なんて……。フフフフ……。

はい

そうですか……。
まあ、悪い人じゃなさそうですし……。ひとまず、木工師ギルドに入門することは認めましょう……。
まだ貴方は、木の芽のようなもの。木材としては、使いものにならない……。
木工に必要な道具をさし上げましょう……。「ウェザードソー」初心者用のノコです……。
まずは、そのノコを装備してみてください……。
装備できたら、私に声をかけるんですよ……。きちんと装備できたかどうか、確かめますからね……。

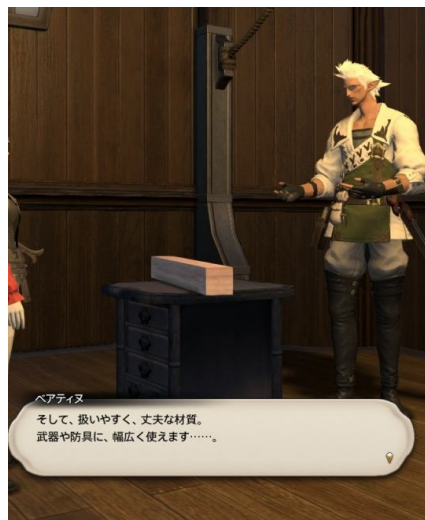


木材の教え

ベアティス : きちんと装備できたようですね。木工師たるもの、ノコは大事にするものですよ……。
乱暴に扱ったら……貴方のことを……ノコで……。
フフフ……冗談ですよ……。
さて、ノコも装備できたことですし。貴方の腕を見せてもらいましょうか……。
さっそく、そのノコを使って「メーブル材」を1本、作っててください……。
「メーブル材」は……「メーブル原木」を製材したものです。
「メーブル原木」は……木工師ギルドの入口にいるフェレオルから購入することができますよ……。
「ウィンドシャード」も必要でしょう。
切ったばかりの原木には、水分が含まれていますからね……。
よく乾燥させることで、木材の変形や伸縮を避けることができます……。
それでは、「メーブル材」を1本。楽しみに待っていますよ……。
フフ、フフフフフ……。

ベアティス : 「メーブル材」の材料となる「メーブル原木」は……木工師ギルドの入口にいる、フェレオルから購入することができますよ……。
フフ。貴方がどんなメーブル材を持ってくるか……楽しみです……。

ベアティス : ……………。
……愛を感じます……貴方の愛……………
このメーブル材に……ああ……その木目に詰まっています……！
ほら、この木目、シロップのように……柔らかいでしょう……。「メーブル材」の特徴は、この独特な木目……。
そして、扱いやすく、丈夫な材質。武器や防具に、幅広く使えます……。
こうして、原木を製材することで、その木目から、その木の特性を知り、どんな用途に適した素材なのかを考える……。
それが、「木を知る」ことであり、木工師の、第一歩なのです……。
貴方はノコを使って、木を知ることができた。新米木工師の、第一の試練を無事……乗り越えたようですね。
いいでしょう……。その調子で……夢にメーブル材が出てくるほど、メーブル原木を製材した頃……。
その時、第二の試練を出しましょう。フフ、フフフフフ……



力宿すもの

ベアティス：なるほど……貴方のノコが、心を開き始めたようですね。
宣言どおり、貴方が一人前の木工師になるため次なる試練を与えましょう……。
フフフ。今回は、第二の試練……それは「**力を与える試練**」……。
そう、前回は材木でしたが、今度は木製の盾「**エキュ**」を3つ、作っていただきたいのです。
材料は「**メーブル材**」と「**ブロンズリベット**」。
「**ブロンズリベット**」はギルドの入口のフェレオルから買うことができます……。
「メーブル材」の元となる「メーブル原木」も同じように購入できますが……別の方法でも入手できることを、ご存知でしたか？
それは「園芸師」に採集してもらう方法です。そう、園芸師と木工師は……とても、つながりが深い……。
知り合いの園芸師に調達を頼むのもいいですしあなた自身が、園芸師になって集めてもいいでしょう……。
それでは、「エキュ」の完成をお待ちしていますよ……フフ、フフフフ。

ベアティス：おや……3つの「エキュ」は、もう完成しましたか？

ベアティス：……◇◇◇ ◆◆◆さん……
これは……全く……ハア……。
ため息がでるほど……素晴らしい「エキュ」です……。！
メーブル材の香りも……ああ……「エキュ」ののどける木目と、微かな芳香……。いい仕事です……ハア……。
エキュとは、「**古エゼン語**」で……そのものズバリ「**盾**」という意味です。
今は、盾と言えば、甲冑師が作る金属製の盾が主流ですが……。
木製の盾は安価で製造しやすく、入手も容易い。それでいて、堅実な防御力を持つ……。
多くの剣術士は、このエキュで盾を学ぶものです。
そう、私達が作る木工品は、鑑賞品だけではありません……。
木工師が木材に与えた「**力**」を使って、**品の持ち主は鍛錬を積み、成長してゆく**のです……。
木に込めた力が、ひとを育てる。その責任を、忘れないでください……。
勉強に……なりましたか？これで、第二の試練は終わりです……。
第二の試練を乗り越えた貴方には、「アマチュアクローハンマー」を、差し上げましょう。
ハンマーは「**副道具**」と呼ばれるもの……。ノコのような「**主道具**」と、併せて装備することで、作業がやりやすくなります。
良い道具を使うと、作業が捗りますよ。早速、試してみることです……フフ、フフフ。
ハンマーも使いこなし、貴方が、多くの木材に力を与えた頃……第三の試練を与えましょう。

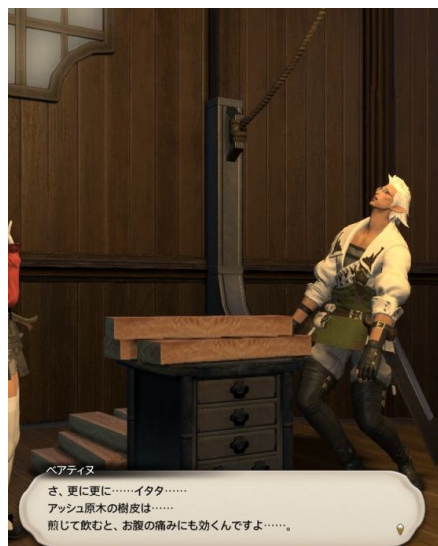
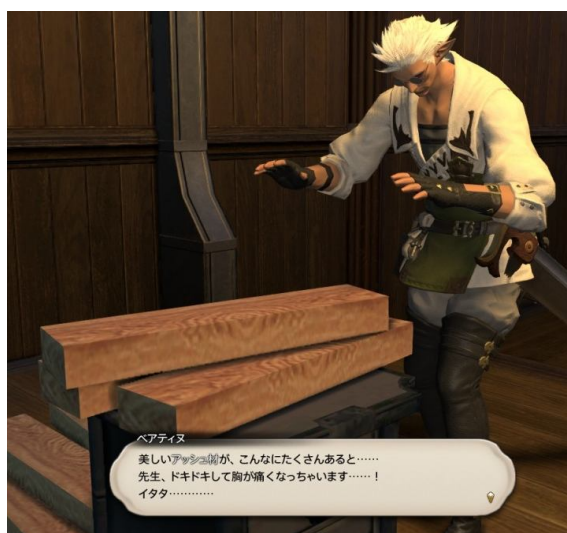


先生の心痛

ベアティス：フフフ……成長しましたね。ノコも、微笑んでいるようです……。
とはいえ、貴方はまだまだ幼木。第三の試練に臨む前に、少し寄り道をしようじゃありませんか……。
なあと、簡単なことです。「アッシュ材」を作ってきてほしいのです……。
アッシュ材……楽勝だと……思いましたか？アッシュ材を「1本」とは言っていないせんよ……。
アッシュ材を、「12本」作ってほしいんです……。
フフフ、先生ちょっと、意地悪な言い方しちゃいましたかね……。
まあ、正直なところ……ギルドで使う、アッシュ材の在庫が切れてしまつてとてもとても、困っていたんです。
まあ、私が製材してもいいですけど……ちょっと今日は、お腹が痛くて……すみません……。
アッシュ材を、12本……お願いしますね……。

ベアティス：アッシュ材を、12本……ですよ？もうできたのですか……？

ベアティス：……◇◇◇ ◆◆◆さん……………ハア……もう、たくさんです……。
美しいアッシュ材が、こんなにたくさんあると……先生、ドキドキして胸が痛くなっちゃいます……！ イタタ……………
ア、アッシュ材は、木材の優等生です……。弾力性に優れ、折れにくい。武器の柄や、弓の材料などにピッタリです……。
そ、その上、とても加工もしやすいので見習い木工師が使う、練習用の素材としても、ピッタリなのです……。
アッシュ材は、便利な優等生さんだからここここでは、在庫がすぐ無くなってしまうのです……。
さ、更に更に……イタタ……アッシュ原木の樹皮は……煎じて飲むと、お腹の痛みにも効くんですよ……。
先生も、あとで飲もうと思います……イタタタタ……
じ、次回こそは……第三の試練を……しましょうね……イタタタタ……
そ、それまでは、冒険者ギルドのゴントラン氏から……ギルドリーヴの、製作稼業なんかを……引き受けて……
木工の腕を磨くのも……良いかもしれません。イタタタ……



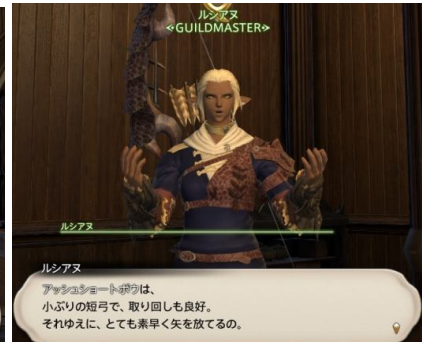
木工師の愛

ベアティヌ： ◇◇◇ ◆◆◆さん、よく来ましたね。今日こそはついに、最後の試練の時……。
……と、言いたいところですが……すみません……。またしても別のお願いがあるのです。
あなたと同じ、冒険者の木工師ギルド員、メラ・バメラさんが、何か非常に悩んでいるようです……。
私も、声はかけてみたのですが私には事情を話したくないようです……。
私、ちょっと悲しいのですが……立場の近い◇◇◇ ◆◆◆さんだったら、彼も話しやすいこともあるかもしれません……。
もしよかったら今日は、彼の悩みを聞いてあげてくれませんか……？

メラ・バメラ： ぐ、ぐぬぬぬぬ……
たっ……頼む！
お前……「フェザーハーブーン」と「アッシュシュートボウ」は作れるか！？
実は……僕、槍術士ギルドと、弓術士ギルドから武器の納品を依頼されていることをすっかり忘れていたんだ……。
でも今日中に、オーク材の削り直し100本を終わらせなきゃいけない……。
もし依頼品をすっぽかしたら……ベアティヌ先生を怒らせたらっ……オーク材の代わりに、僕が製材されちゃう！
お願いだよ！ 僕の代わりにフェザーハーブーンとアッシュシュートボウを作って納品してくれ！
納品先は、槍術士ギルドマスターのイウエインと、弓術士ギルドマスターのルシアヌだ！頼んだぞ！

イウエイン： 木工師ギルドに依頼した、「フェザーハーブーン」の納品を待っているんだ。
ああ、「フェザーハーブーン」か！ 注文どおりの品だ、ありがとよ。
納品が間に合わなかったら、槍の代わりに、漁師が忘れてった「銚」でも使おうかと思っていたところだ。
ああ、知らなかったか？ 「ハーブーン」ってのは元々、漁師が使う「銚」から生まれたんだ。
海辺の地域から移住してきたヒューラン族が、森での猟に使うために改良したのが、ハーブーンの始まりだという。
それが今では、森を守る鬼哭隊の重要な武器だ。面白いこともあるもんだな。
あんたが持ってきたフェザーハーブーン、中々よくできてやがる。ありがたく使わせてもらうぜ。

ルシアヌ： 木工師ギルドに依頼した、「アッシュシュートボウ」の納品を待っているのよ。
あら、「アッシュシュートボウ」の納品ね。ご苦労さま。
新入りのミコツテ族の者が、弓を傷めてしまってた。「アッシュシュートボウ」でなければ、手に馴染まない……と言うのよ。
アッシュシュートボウは、小ぶりの短弓で、取り回しも良好。それゆえに、とても素早く矢を放てるの。
小柄ですばしっこい狩猟民族、ミコツテ族にはうってつけの弓ということよ。
あなたのお持ちになったこのシュートボウ、とてもよい出来ね。これで、彼女も鍛錬に励むことができるわ。ありがとう。



ベアティヌ： メラさんに……話は聞きました……。メラさんの仕事を手伝ってくださったようですね……。
メラさんは、お仕置きとして…… オークチップのようにバラバラに製材しておきましたよ……。
フフフ……フフフフ…… 先生の木工ジョークですよ……。
それにしても、◇◇◇ ◆◆◆さん。驚くべき偶然……運がよいですね。
実は、第三の試練は…… 「愛の試練」……。
それは……ここ、木工師ギルドの一員として、木材への愛……敬意を示すこと。
グリダニアは、木に囲まれた都市。みな、木々への愛情には……とても敏感です。
もしも、槍術士ギルドのイウエインさんや、弓術士ギルドのルシアヌさんに、不出来な武器を納品していたら……
今頃、あのふたりの強豪に…… あちこち突き刺されてたことでしょう…… フフフフフ。
さて…… 今までの試練をおさらいしてみましょうか。
まず「木を知る試練」……次に「力を与える試練」…… そして最後に、「愛の試練」……。
「木を知り」、その木材に「力を与え」…… 職人としての責任をもって、「愛」を注ぐ……。
そう、これが木工師ギルドの心得です。
この3つの試練を越えた◇◇◇ ◆◆◆さんはもう、新芽ではなく、自立した1本の木です……。
見習い試練はこれで完了です。よく頑張りましたね……。
これからは……立派なギルドの一員として…… 共に、さらなる成長をしていきましょう……。

一途な意志

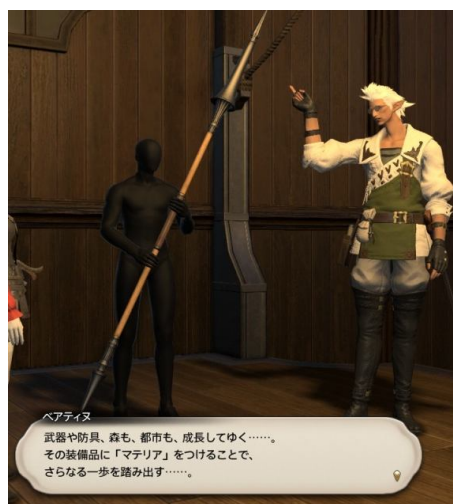
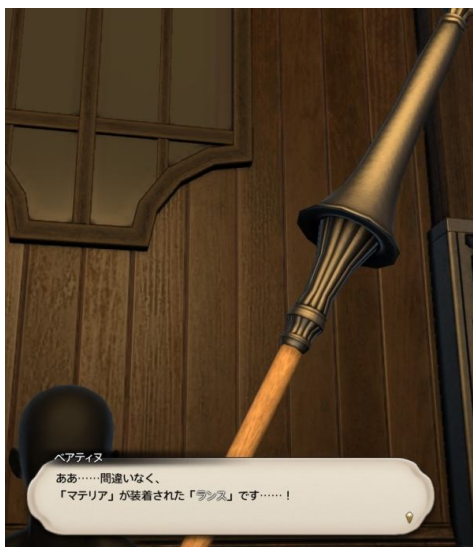
ベアティヌ：◇◇◇ ◆◆◆さん……いいところに来ましたね……。

だいぶ、腕を上げたようです……。ここでひとつ……「マテリア」の装着に挑戦してみても、いかがでしょうか。
「マテリア」の装着とは……使い込んだ装備品を結晶化した「マテリア」を装備品に組み合わせて……性能を向上させること。
今回は……「ランス」に「マテリア」をひとつ、装着していただこうと思います……。
「マテリア」には様々な種類がありますが……どんなマテリアでも……構いません。
好きなマテリアを選んで、装着してみてください……。
マテリアを装着する武器、「ランス」の材料ですが……「エルム材」に「アイアンインゴット」、それから「ハードレザー」です。
ここで気をつけなければいけないのが……「アイアンインゴット」は、グリダニア都市内では扱っていない、ということです。
黒鉄の塊「アイアンインゴット」は……海洋都市リムサ・ロミンサの鍛冶の技で作られるものですから……。
調達には「黒檀商店街」のマーケットボードで探したり……知り合いに、お願いしてみるといいかもしれません……。
まとめると……今回の課題は……素材を仕入れて、「ランス」を作り……「マテリア」を装着して、性能を高めること……。
もし「マテリア」について、よく分からないなら……中央ザナランの「狼煙の丘」を訪ねるといいでしょう。
あそこにいるゴブリン族が、説明してくれます……。
やる事が多くて、大変だと思いますが……一段と成長したあなたが作り上げる、素敵な「ランス」を、お待ちしておりますよ……！

ベアティヌ：あなたの「ランス」の完成が……待ち遠しくて、仕方ありません……！

ベアティヌ：ああ……間違いなく、「マテリア」が装着された「ランス」です……！

◇◇◇ ◆◆◆さん……！ 期待以上ですよ……素晴らしい……！
「ランス」というのは……もともと……城塞都市「イシュガル」の、チョコボ騎兵用の武器として、作られた槍なんです……。
イシュガルドの騎兵は…… 高速で疾走するチョコボの勢いを利用し…… ……すさまじい威力の突きを繰り出します……。
ですが……そのぶん、反動も大きい。その衝撃に耐えるために、彼らの使う槍は、とても頑丈に作られました。
イシュガルドの騎兵用の武器だった槍を……グリダニアの歩兵用に、調整をしたのが、この「ランス」なのです……。
円錐状の穂先が、末広がりになっているでしょう……？ これは、騎兵用のランスについていた鏑……ヴァンブレイトの名残なのですよ。
……武器ひとつにも、深い歴史があります。歴史とともに歩むのは、人だけではない……
武器や防具、森も、都市も、成長してゆく……。その装備品に「マテリア」をつけることで、さらなる一歩を踏み出す……。
フフ……勉強になりましたか？ 今回学んだことを、しっかりと心に刻んでくださいな。
ところで、ランスの最大の魅力は……フォルムの美しさもさることながら……
シンプルでいて、とても、頑丈であることだと思うんです。
形状は変わっても、頑丈さは、変わらず受け継いでいる……私は「ランス」を見るたびに……
木工師になったばかりの頃を思い出します。
どんなに辛く悲しいことがあっても……「ランス」のように、真っ直ぐと、己を貫けるよう、
強くありたいものですね。



健やかなる若木

ベアティヌ： ハア……………

ああ……◇◇◇ ◆◆◆さん……。また、腕を上げたようですね……。ですが今日は……特にお願いしたい仕事がないんです……。もし、お忙しくなかったら……木工師ギルドの裏の「どんぐり遊園」にいる子どもたちと……遊んであげてくれませんか……。私、新しい製品の製作にかかりっきりで……きっと退屈しているでしょうから……すみませんが、よろしくお願いしますね……。……ハア……………

ニコリオー： なんだよ、冒険者が、なんの用？

うーん…… ベアティヌ先生、まだ落ち込んでるのかぁ。

先生、さいきん新しいアイデアが浮かばないとかで、考えこんじゃってるみたいなんだよな。

えーつと……すらんぶ、ってやつだろ？

俺も、なんとか元気づけてあげたいんだけど、先生はいちど落ち込むと、当分あのまんまだからなぁ。

……あ！ そうだ、お前、「木工師」だよな！？

じゃあさ、すっごく上等な「ウォルナット材HQ」を作ってベアティヌ先生に渡してあげてよ！

先生は、質のいい木材を手にとると、元気になるんだ。

きつと、すっごく上等な「ウォルナット材HQ」をあげれば、いつもの変なベアティヌ先生に戻るはず！

このままじゃ先生の周りにキノコが生えちゃうよ。うなる前に、元気づけてあげて！



ベアティヌ： ハア……………私のことは……放っておいてください……

どうせ私は……頑丈なランスには、なれっこない……私なんて……しなびた枯枝がお似合いです……。ハア……

ベアティヌ： ……え？ これを、私に……？

これは……！ すばらしく上質な……ウォルナット材HQではないですか……！ もしかして、あなたが製材したんですか！？

ウォルナット材HQの命、重厚さと硬さを引き出す仕上げ……そして、ほんのりと残る、ねばり気……！ 文句なしの出来栄です……！

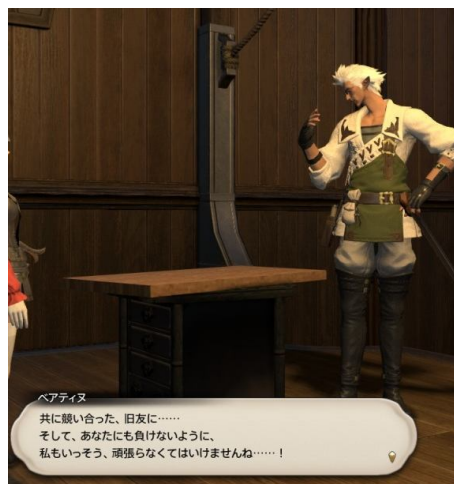
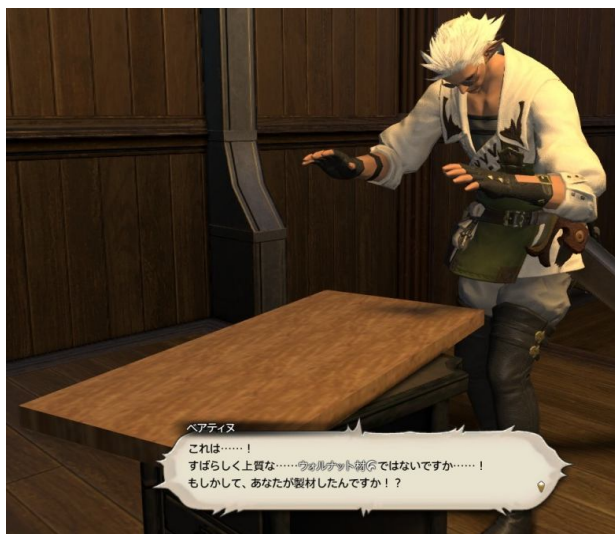
そうだ……！ このウォルナット材HQを使って、昔、ウルダハで流行した家具を再現してみても……

いやいやいや！ 新しい槍の柄に使うのもいいなぁ……！

ああ！ アイディアが溢れます！ ◇◇◇ ◆◆◆さん……あなたの、この、ウォルナット材HQのおかげです！

……ハア。いつの間にか、こんなに腕をあげていたんですね……。あなたの成長を見てると、私の古い友人を思い出します。

共に競い合った、旧友に……そして、あなたにも負けないように、私もいっそう、頑張らなくてははいけませんね……！

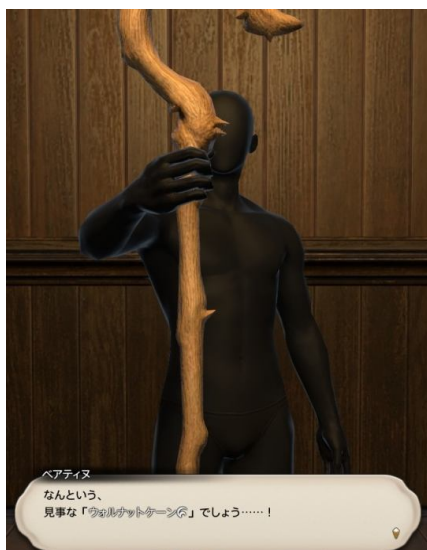


結ばれる想い

ベアティス：◇◇◇ ◆◆◆さん……！ フフフ……待っていましたよ……。
実は、あなたに指名の依頼がきているんです。「冒険者」の木工師に、最高の「ウォルナットケーンHQ」を是非とも作ってほしいと……！
職人として、腕を頼られることほど嬉しいことはありませんね……！
最高の「ウォルナットケーンHQ」を作るのは、けっして容易ではないでしょう……。でも、あなたなら必ず……！
ああ、先生までドキドキしてきちゃいました。頑張って作って、持ってきてください。お待ちしていますよ……！

ベアティス：最高の「ウォルナットケーンHQ」を作るのは、けっして容易ではないでしょう……。でも、あなたなら必ず……！

ベアティス：◇◇◇ ◆◆◆さん……ハア……これは、なんという……
なんという、見事な「ウォルナットケーンHQ」でしょう……！
この杖は、年を重ねた原木のような質感を保っていますが、実は、切り出してしっかりと製材したウォルナット材から作られている……。
これは、一度製材したものに、錬金術の産物である「グロースフォーミュラ」を使って生命力を与え、再び自然の姿を取り戻させているから……。
杖としての使いやすい形と……「自然から属性の力を借りるための依代」としての性質とを絶妙なバランスで両立させる……。
木を愛し、木を熟知している者でなければ成し得ない技です……ハア……まさに、最高のウォルナットケーンHQ……！
依頼者も、きっと喜んでくださるでしょう。「双蛇党」統合司令部で待っているとのこと。さあ、急いで届けてあげてください……！



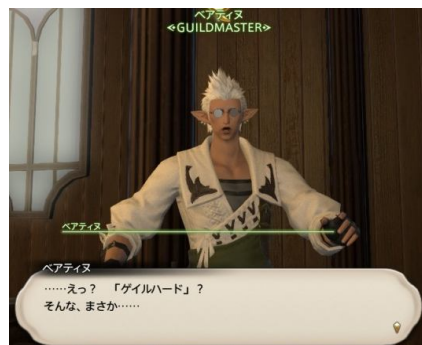
ゲイルハート：木工師ギルドに依頼した品を待っているのさ。
お前が木工師ギルドの◇◇◇ ◆◆◆か。俺は双蛇党「黄蛇隊」戦闘小隊の隊長、ゲイルハートだ。
なるほど……こいつは素晴らしい杖だ。
幻術のことはサッパリな俺から見ても、この輝き……ほかのものとは一線を画する出来だとかわかる。
すまないが、もうひとつ頼まれてくれないか。この杖を、お前の手から俺の部下に届けてやってほしいんだ。
部下の名は「ボネット」。彼女は、最近俺の隊に配属されたんだが、どうにも反りが合わなくて、俺の話を聞いてくれんのだ。
俺が「アラミゴ」という、他都市の出身だからだろう。
この都市の者は、グリダニアを愛するがあまり余所者に不信感を抱いてしまうきらいがある。
この不信感を拭うために、俺たちのような「余所者」にも、
素晴らしい手腕を持ち、誰かのために力を尽くせる者がいることを示してほしいのだ。
そのために、この素晴らしい「ウォルナットケーンHQ」を、是非、お前から直接手渡してやってくれ。
「ボネット」は「碩老樹瞑想窟」にいる。頼んだぞ。

ボネット：ゲイルハート隊長が、渡すものがあるからここで待て、と。私も暇ではないというのに、迷惑なものです。
ゲイルハート隊長からの届け物？人を待たせておきながら、冒険者を寄越すなんて。まったく！ だから余所者は礼儀と言うものを……
……………！
この、ウォルナットケーンHQは……！？ あなたがこの杖を……！？
扱いやすく加工されているがらも、原木の持っていた質感が、僅かも損なわれていない……。
それに何より、杖は幻術士と自然をつなぐ存在。
この杖は、自然から属性の力を借りる妨げにならぬよう、材質を活かし、ありのままの姿を美しく保っている。
ええ……幻術士だからこそ、よくわかります。
このケーンの素晴らしいさ、杖先にまで込められた製作者の心が伝わってくるようです。
まさか、余所者である冒険者が、ここまでの逸品をつくり上げるとは……
……………。
あなたに、謝らねばなりません。私は……余所者は、私たちのことなど考えもしないし、理解し合えるはずがないと思っていました。
でも、理解しなかったのは、私の方だったのですね。このケーンを受け取って、目が覚めました。
あなたと、そして、この杖の製作を依頼したゲイルハート隊長に感謝が尽きません。この杖に恥じぬよう、隊長に尽くします。
本当にありがとうございました。ゲイルハート隊長にも、お礼をお伝えください。



ゲイルハード : ご苦労だった。幻術士を唸らせる杖の製作は容易ではなかったろうが、さすがはペアティヌの指導を受けた木工師だな。
……ふふふ。あいつの腕も、まだまだ落ちちやいないってことか。
よし、それじゃ俺はそろそろ行くとしよう。本当によくやってくれた。ペアティヌに、よろしく伝えておいてくれ。

ペアティヌ : おかえりなさい。どうでした？ 依頼者は喜んでくれましたか？
……なるほど。幻術士のための杖の製作依頼だったんですね。
あなたの杖が、ひとりの幻術士の心に響き、彼女を「成長」させた……。ハア……素晴らしいことです……。！
そういえば、依頼人は誰だったんですか？ 私のところには使いの者が来ただけだったので……
……えっ？ 「ゲイルハード」？ そんな、まさか……
彼は……私の親友です……。！ 双蛇党の小隊長として遠征に向かっていたはずですが、グリダニアに戻ってきたのですね！
水くさいなあ……顔を見せに来てくれてもいいのに……まあ、彼も多忙の身なのかもしれませんね。
今回はご苦労さまでした。あなたのますますの成長、楽しみにしていますよ。

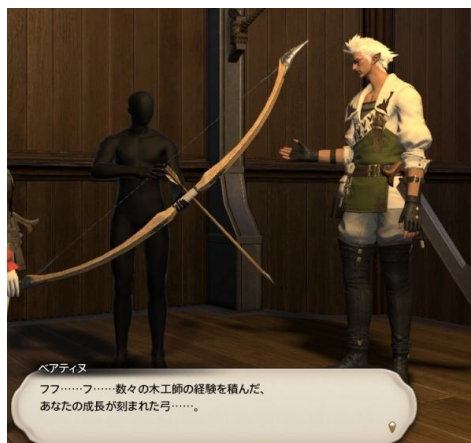


戦いへの備え

ベアティス： ◇◇◇ ◆◆◆さん……！ いい報せです……あなたに、依頼があります。
依頼主は「ゲイルハード」。……覚えていますか？彼の部下に、あなたがウォルナットケーンを届けたこと。
あのケーンの品質に感動して……またぜひ、あなたに製作を、お願いしたいということです……。
今回は、彼の部下のために……とっておきの「オークロングボウHQ」を頼みたいと。
ゲイルハードの率いる冒険者部隊は……勇敢さで知られるぶん……危険な場所に行くことが多いのです。
命をかけてグリダニアを守る彼らのために、私からも、お願いします。最高の「オークロングボウHQ」を作ってください……！

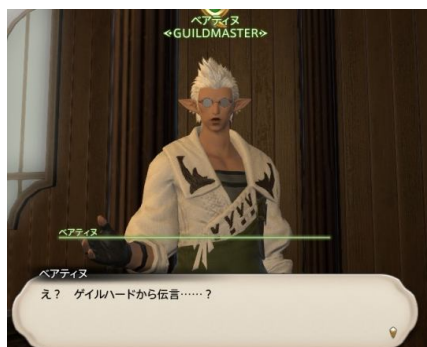
ベアティス： 「オークロングボウHQ」は……仕上がりましたか？

ベアティス： 見事ですよ……◇◇◇さん……！
オークロングボウHQの素材となる、オーク材は……非常に強く、粘りがあり、耐久性に優れた木材です。
この「粘り」こそ、「しなり」が求められる弓にとって、非常に大切なのですが……
オークは乾燥しにくいうえに、強度が高く、加工するには高い技術が要求されるのです……。
並の木工師では、簡単に成せる技ではありません……。
フフ……フ……数々の木工師の経験を積んだ、あなたの成長が刻まれた弓……。
さあ、「双蛇党」統司令部にいる「ゲイルハード」に届けてあげてください。必ず喜んでくれるはずです……！



ゲイルハード： おお、◇◇◇だな。頼んでいた「オークロングボウHQ」はどうだ？
ほう……これは素晴らしい！ やはり、お前に依頼してよかった。この弓があれば、部下も心強いことだろう。
近々また、大規模な遠征に出ることになっていてな、それに向けて、武器や防具を整えているところなのだ。
ああ、出発の前に、ベアティスの奴にも顔を見せてやらないと。いつでも会えると思うと、つい後回しになってな……。
あいつは、一風変わった奴だが、木工やギルドのことを何より大事に考えている。
少しばかり感情的になりやすいせいでギルドマスターが務まるのか、心配していたが、お前のような、いい弟子に恵まれてよかったよ。
素晴らしい弓がありがよ。近々、顔を見せにいくと、あいつにも伝えてくれ。

ベアティス： おかえりなさい。無事、品を納めることができたようですね……。
え？ ゲイルハードから伝言……？
そうですか……近々、遠征に出ると……。もちろん、誇らしいことですが……実は少し……心配でもあるんです……。
彼の腕を疑うわけではありません……。ですが、彼は……
……すみません、やっぱり、なんでもありません。考えすぎてしまうのは、先生の悪いクセですね……。
あなたの弓が喜んでもらえたようで、なによりです……。この調子で、さらに腕を磨いてくださいね……！

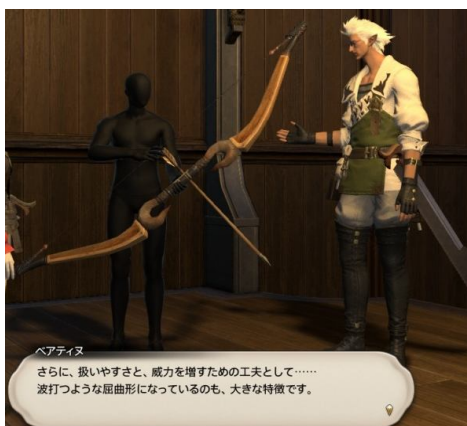


想い託す弓

ベアティヌ：フフフ……お待ちしていましたよ……！ 実はまた、ゲイルハートから依頼が入っているのです。頼まれたのは「オークコンボジットボウHQ」……。これは、かなりの手練れの弓術士でないと扱えない弓です。きっと、彼……「ゲイルハート」の新しい弓に違いありません……！もちろん、作るのも決して簡単ではありません……。ですが、今のあなたなら、きっと素晴らしい弓に仕上げられることでしょう……！さっそく「オークコンボジットボウHQ」を、作ってきてください。お待ちしていますよ……！

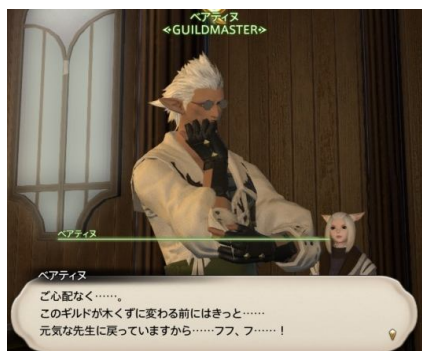
ベアティヌ：「オークコンボジットボウHQ」は、作れましたか……？

ベアティヌ：コンボジットボウ……複数の素材を貼り合わせることで、破壊力を増した「複合弓」のことを指します……。オークコンボジットボウの場合は……硬く、強度に優れたアルドゴートの角と、粘りがあるオーク材を組み合わせて作られますが……。複数の材料を貼り合わせるということは……それぞれの性質を理解して、加工するための、知識と腕が求められます……。さらに、扱いやすさと、威力を増すための工夫として……波打つような屈曲形になっているのも、大きな特徴です。複合弓を構成する材料と、形の持つ意味……それを引き出すために、絶妙に施された加工……！ 見事です、よ、◇◇◇さん……。これこそ、今のゲイルハートに相応しい弓でしょう。彼は「双蛇党：統合司令部」で待っています。さっそく届けてあげてください……。！



ゲイルハート：ああ、◇◇◇。頼んだ「オークコンボジットボウHQ」はどうだ？うむ……どこからどう見ても、一級の弓だ。やはり、お前に頼んでよかったよ。ん？ 俺の新しい弓かって？ いや、この弓もまた、俺の部下の弓術士のためのものさ。俺には、この「ロングボウ」があるからな。こいつは、その昔、ベアティヌが作ってくれた弓だ。まだ俺が双蛇党に入る前……あいつも、まだ木工師ギルドの新米だった頃、弓術に伸び悩んでいた俺を励ましてくれた、大事な弓さ。こいつがなければ、今の俺はなかった。俺は一生この弓を使い続ける……こいつを手放すのは、俺が死んだ時だけだ。……おっと、引き止めて悪かったな。俺の部下のために、素晴らしい弓を作ってくれてありがとう。ベアティヌにも、よろしく伝えておいてくれ！

ベアティヌ：ああ、おかえりなさい……。！ どうでした、ゲイルハートは喜んでくれましたか……。？……えっ？ オークコンボジットボウHQは、ゲイルハートの弓じゃなかったんですか？ハア……なるほど……。となると……。彼はまだ、私の作った弓を使い続けているんですね……。彼は修行を積んで、素晴らしい弓術士になりました。彼にはもっとよい弓があるはず……。ですが……。腕に見合った弓を作ろうと提案しても、頑なに拒まれてしまうのですよ……。あの弓を手放すのは、自分が死んだ時だけだ、と……。気持ちは嬉しいのですが、あの弓はもう限界に近い……。私の弓が、彼を危険に晒すことにならないか、心配なのです……。ああ、いけません……。また考えすぎでしょうか……。？ こんな時は、無心に製材するに限りがありますね……。！ご心配なく……。このギルドが木くずに変わる前にはきっと……。元気な先生に戻っていますから……。フフ、フ……。！



愛別離苦

ベアティヌ： ハアア……私は……ダメな奴です……しなびた枯れ枝以下です……キノコすら生えません……。あんな、酷いことを言うてしまうなんて……でも、そうしないと……。……すみませんが、ちょっと、ひとりにしてください……。『どんぐり遊園』で、ニコリオーと遊んであげてくれますか……。ハア……。

ニコリオー： あ、冒険者！ ひょっとしてベアティヌ先生に言われてきたのか？
やっぱり、また落ち込んでるんだな。でも今度の原因は、すらんぶじゃなくて、ケンカだよ。
ギルドに来た「ゲイルハート」って弓術士の依頼を、先生が断っちゃって、ケンカになったんだ。
大人なのにケンカするなんて、大人気ないやつらだよ。
しかたないから、仲直りさせてやろうぜ。お前は弓術士のところに行って、依頼をひきうけてやるんだ。
先生は俺に任せておいてよ。弓術士は「双蛇党」統合司令部の方に行ったみたいだ。それじゃ、頼んだぞ！



ゲイルハート： どうした、◇◇◇。……え？ 依頼を引き受けに来たって？
なぜ依頼のことを……なに、どんぐり遊園の子供が……。なるほど、口論を聞かれていたのか。
本当はベアティヌに頼みたかったが……背に腹は代えられん。すまないが、代わりに引き受けてくれ。
頼みたいのは、「ユーロングボウHQ」、「コバルトナリバードHQ」、それと「ジェイドクルークHQ」だ。
お前の腕を疑っちゃいけないが、こいつは重要な依頼だ。作ったら、「ベアティヌ」に見てもらってくれ。
お前の作った武器を見れば、あいつも考えを改めるかもしれない……。絶対に手を抜かず、最高の品に仕上げてくれ。頼んだぞ！

ベアティヌ： ◇◇◇さん……ニコリオーから、話を聞きました……。ゲイルハートの依頼……すみませんが、頼みますね……。

ベアティヌ： ああ……どれも……素晴らしい……。何ひとつ、文句のつけようなど、ありません……。
ユーロングボウHQは、高級木材であるローズウッド材を、ユーの枝で補強した弓です……。
ローズウッド材の欠点である重さを部分的にユーの枝を用いることで補い、丈夫なラフトルの腿を弦に張った、重厚で堅強な弓……。
コバルトナリバードHQは……バイルブランド島で考案された合金「コバルト」で穂先を作ったナリバードのこと……。
斧を主武器とする**傭兵の民ローエンガルデ族**が、**チョコボ騎兵に対抗**するため、斧の柄を長くしたのがナリバードの始まり……。
グリダニアでは珍しい武器ですが……。一流の木工師によって引き出される、その攻撃性と機能性は、他の槍に決して劣りません……。
そして、ジェイドクルークHQ……素材のマホガニー材は、独特の赤みと美しい光沢から高級家具や楽器の材料として愛されてきました……。
そんな高級素材に、「**命の再生**」を象徴する翡翠……。『**ジェダイト**』をはめ込んだのが、この杖です……。
生命力を操る幻術士たちの妨げにならぬよう、必要な素材のみを、最高の状態で組み合わせた逸品……。本当に、非の打ち所がありません……。！
ハア……。◇◇◇さん……。あなたの素晴らしい武器を、ゲイルハートに届けてあげてください……。
この武器が必要だとは、分かってはいるんです……。ですが、私からは、とても……。すみません……。よろしく願います……。



ゲイルハード：頼んだ武器は、仕上がったのか？

ああ……見事な武器だ。どれも、隅々まで作りこまれていることが分かる。お前はずいぶん腕を上げ、木工師として成長したんだな。それに比べて、ベアティヌの頑固さは相変わらずだ。少しは弟子を見習ってほしいものだ。俺が新しい弓に変えないのなら、依頼を引き受けない、の一点張りだな。それで大ゲンカになっちゃった、というワケさ。だが、お前のお陰で部下たちに最高の武器を渡せる。これで安心して遠征に向かえるぞ。本当に、世話になった。しばらく会えなくなるが、元気でやれよ。「ベアティヌ」にも、そう伝えてくれ。

ベアティヌ：◇◇◇さん……ゲイルハードに……武器を届けてくれたのですね……

ええ、当然ですよ……木工師ですから、依頼は、こなさなければ……ですが……

私は……我慢できなかったんです……ゲイルハードが、弓を変えようとしなかったことが……。

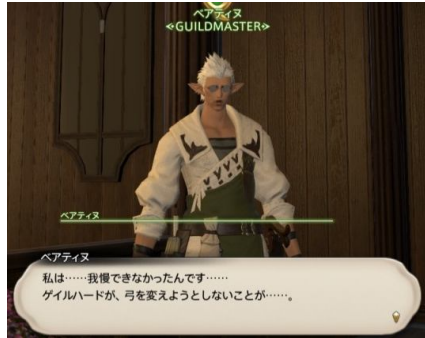
あの弓は、もう限界なんです……彼自身のために、もっとよい弓を作ると言っても……聞き入れてもらえなくて……

それで、つい怒ってゲンカになってしまったんです……。ハア……依頼人に考えを押し付けてしまうなんて……

私……職人失格ですよ……。

ゲイルハードは、もう死んでしまいましたか……今までも窮地を切り抜けてきた彼ならば、

きっと大丈夫だと信じたいのですが……。



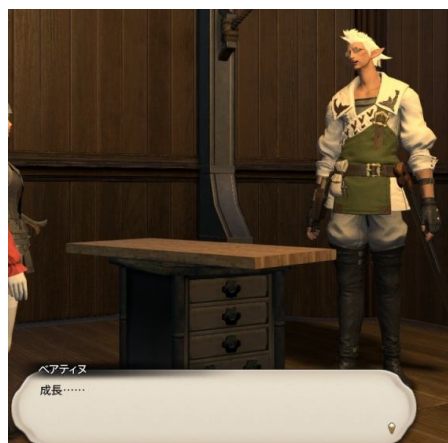
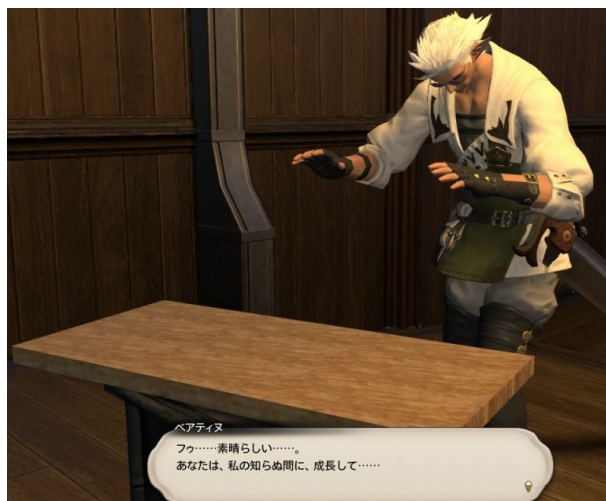
出藍の誉れ

ベアティス : ◇◇◇さん……！ た、大変です……どうしましょう……どうしたら……！
そ……「双蛇党」統合司令部に、戦場で回収された、壊れた武器が届いたんですが……その……その中に……
ゲイルハートの弓がっ……！
私が作ったものです……見間違はずありません……！ 戦場で武器を手放せば、どうことになるか……ああ……
ゲイルハートは………
うう……すみません……ひとりにしてください……どんぐり遊園で「ニコリオー」の相手でもしてあげてください……。

ニコリオー : 先生、また、落ち込んでるんだな。でも、今回は僕らじゃどうしようもないよ。自分で立ち直らなきゃいけないだ。
せめて、お前が、その手伝いをしてあげてよ。先生がちよっとでも前向きに考えられるように、
すごい「ローズウッド材HQ」を渡してあげて！

ベアティス : すみません……ひとりにしてください……。

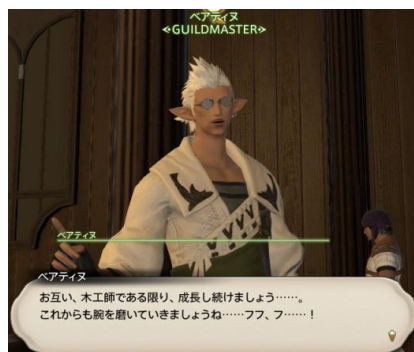
ベアティス : これは……「ローズウッド材HQ」……？
フゥ……素晴らしい……。あなたは、私の知らぬ間に、成長して……
成長……
人も、木も成長する……そうです……彼だって、昔のままじゃない……
簡単にゲイルハートが、やられるはずない……！
彼はまだ、生きているかもしれません……！ ならば新しい弓を必要としている……！ ええ、それに違いありません……！
……◇◇◇さん。あなたに、お願いがあります。私に「成長」を教えてくれた、あなたにこそ頼みたいんです。
「クラブボウHQ」を作り、「武略のマテリダ」を装着してください……。
そして、その弓を……前線にいる「ゲイルハート」へ届けてほしいのです……あなたの姿と弓で、
私のギルドマスターとしての成長を彼に示してください。
彼の部隊は今、北部森林にいるはずで。手遅れにならないうちに、お願いします……！



ゲイルハート : もうダメだ……イクサル族の部隊が、迫ってきてるのに俺は、あの弓がないと……
◇◇◇……！ なぜここへ……それに、この弓は……？
こ、これは……「クラブボウHQ」じゃないか！ どうして、まさかお前が……！？
なんと、見事な弓だ……メガロクラブの甲殻と、紅珊瑚の彩り……
手に取る者の士気を燃え立たせる、毅然とした美しさ……
見目にとどまらず、素材のコンポジットボウの弱点である接合部の強度を、絶妙に補強した加工も素晴らしい。
こんな弓は、見たことがない……。お前と……ベアティスが届けてくれた弓……これがあれば、俺は……！
◇◇◇、見ていてくれ！
うおおおおおっ！！



ベアティヌ : おかえりなさい……！ 彼の部隊の勝利が、このグリダニアにまで届いていますよ……！
本当に、本当によかった……。そして、本当に、ありがとうございました。
あなたを木工師として指導するうちに……先生も、ひとまわり成長できた……と思います……。
◇◇◇さん……あなたはもう、立派な大木です。私からお教えできることは、もうありませんが……
お互い、木工師である限り、成長し続けましょう……。これからも腕を磨いていきましょうね……フフ、フ……！



登場人物

ベアティヌ：木工師ギルドのギルドマスター。



ゲイルハード：ベアティヌの旧友。双蛇党「黄蛇隊」戦闘小隊の隊長。



ニコリオー：「どんぐり遊園」にいる子ども



ボネット：ゲイルハードの部下



メラ・バメラ：木工師ギルド員



イウエイン：槍術師ギルドマスター



ルシアヌ：弓術師ギルドマスター



コーグ：木工師ギルド受付

